立山校区「地域づくりアンケート」回答結果

（2021 年 6 月アンケート）

【分析結果】

「質問 1 の項目」（校区での生活の困りごと）から浮かび上がった校区の姿は、次のようである。

「家と地域社会」「地域共同体」「生活と生計」の 3 つの要素が、相互に悪循環サイクルをなしている。

第 1 の「家と地域社会」は、「継承の危機」にある。家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなってきている。

第 2 の「地域共同体」は、「解体の危機」にある。学校・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。

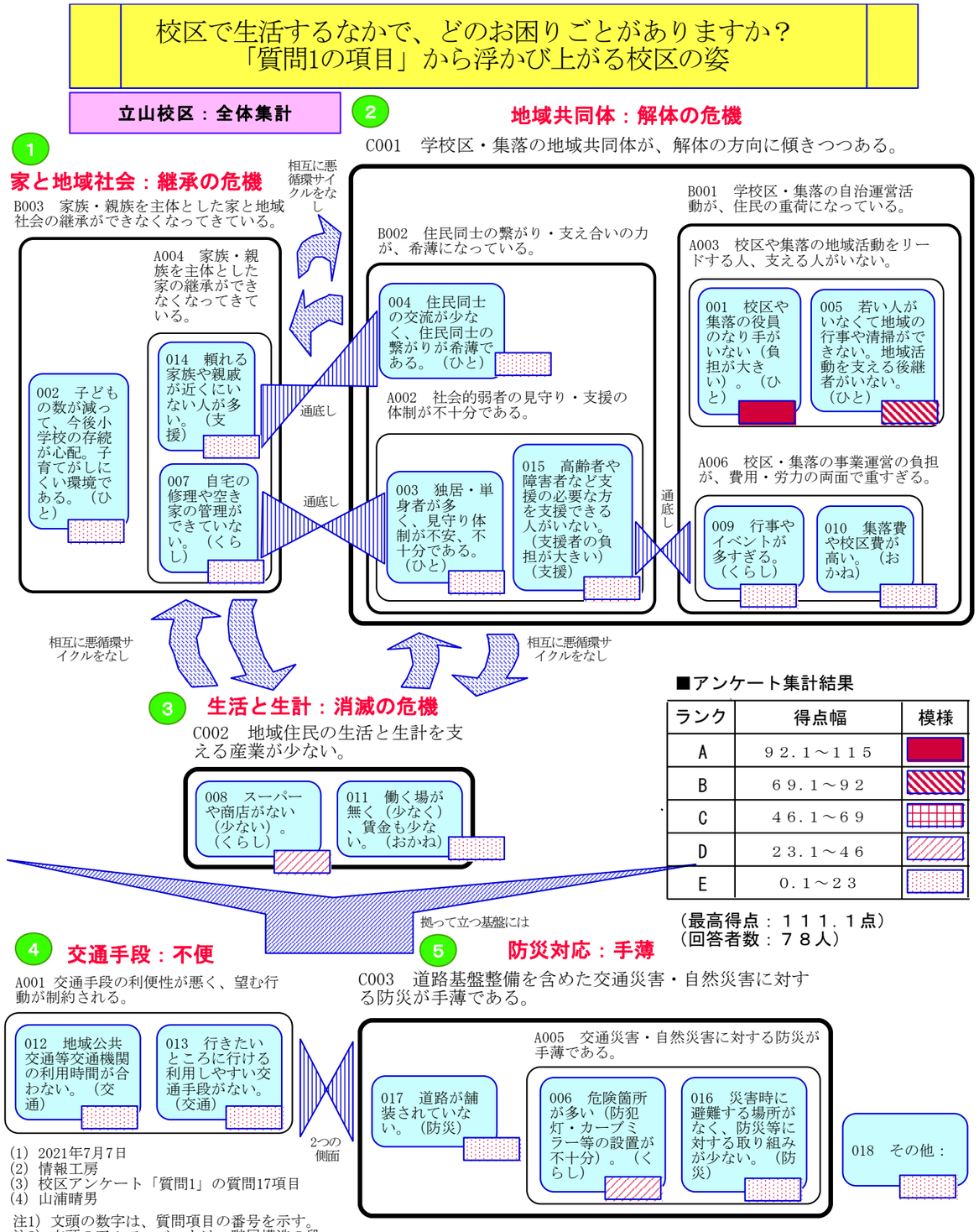
第 3 の「生活と生計」は、「消滅の危機」にある。地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。

これらがよって立つ基盤には、2 つの側面がある。

一方は「交通手段」で、「不便」である。交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。

もう一方は「防災対応」で、「手薄」となっている。道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。

以上のように、現在の困りごとをこのまま放置すると近い将来、校区の地域社会の存続が危ぶまれる状況におかれていることが、浮かび上がった。



■アンケート集計結果

ランク	得点幅	模様
A	９２．１～１１５	
B	６９．１～９２	
C	４６．１～６９	
D	２３．１～４６	
E	０．１～２３	

（最高得点：１１１．１点）
（回答者数：７８人）

(1) 2021年7月7日
(2) 情報工房
(3) 校区アンケート「質問1」の質問17項目
(4) 山浦晴男

注1) 文頭の数字は、質問項目の番号を示す。
注2) 文頭のアルファベットは、階層構造の段階を示す。
注3) 左上の丸数字は、分析結果の解説のストーリーの流れを示す。